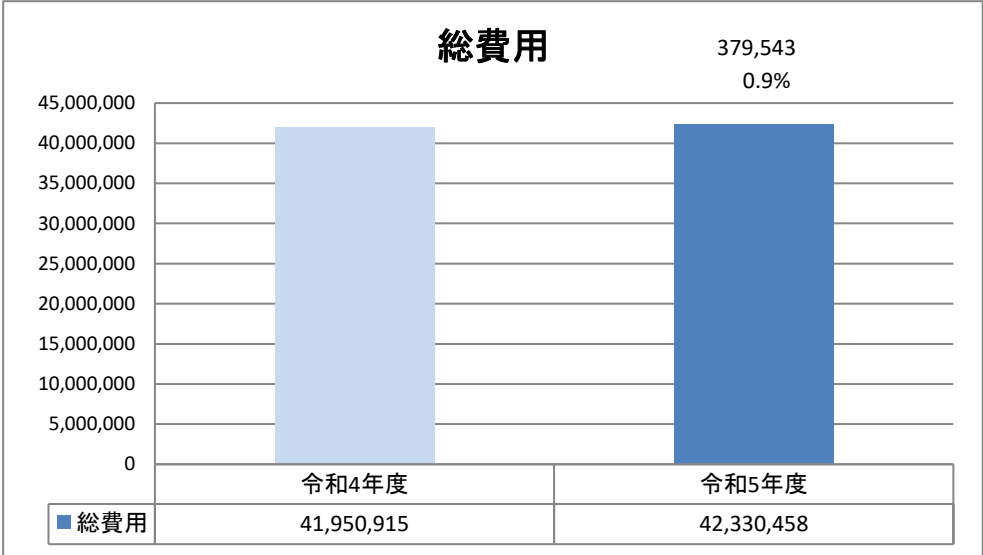
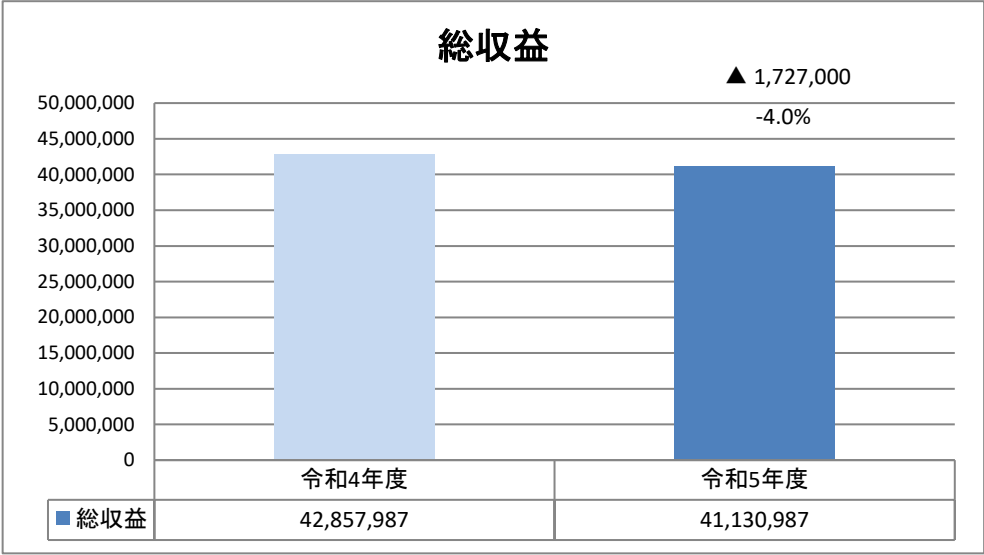


収支状況表(1)

(単位:千円)

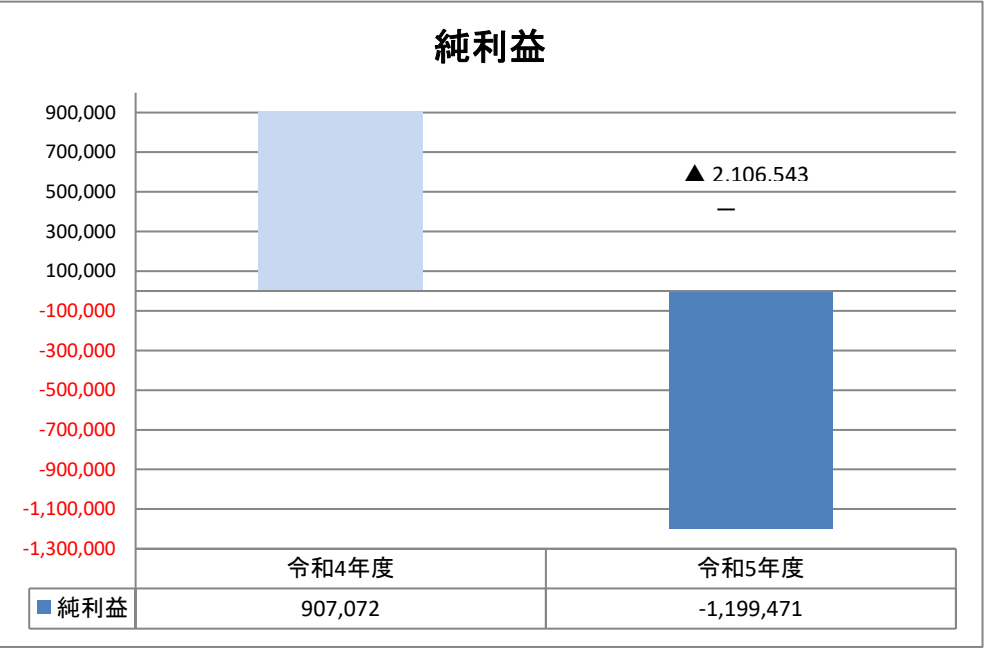
収支状況表(35)

(単位:千円)



収支状況表(64)

(単位:千円)



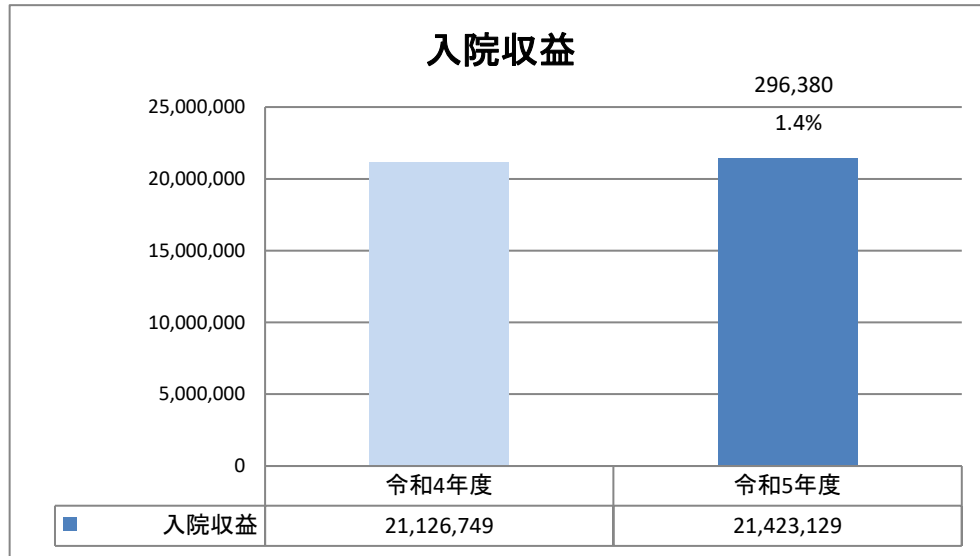
収益・費用 補足 ()は収支状況表の明細番号

(単位:千円)

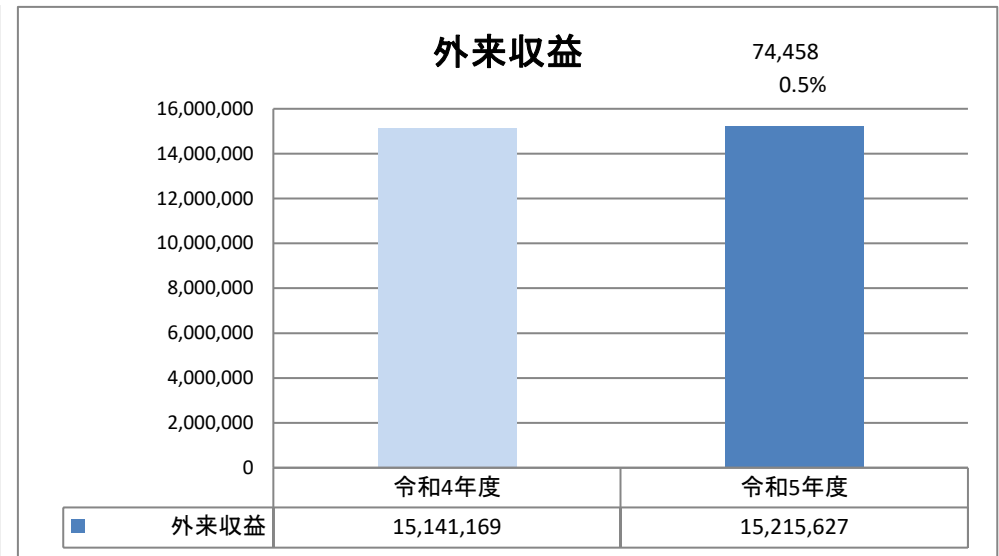
		令和 4年度		令和 5年度	
		決算	見込	決算	前年度比増減
(1)	総収益	42,857,987	41,262,651	41,130,987	▲ 1,727,000
(2)	営業収益	42,346,059	40,772,132	40,650,436	▲ 1,695,623
(3)	医業収益	36,981,018	37,448,292	37,263,987	282,969
(11)	※ 補助金等収益	2,266,715	410,653	437,717	▲ 1,828,998
	うちコロナ関連	2,043,981	198,816	254,906	▲ 1,789,075
(35)	総費用	41,950,915	42,735,179	42,330,458	379,543
(36)	営業費用	41,630,223	42,423,049	42,036,602	406,379
(37)	医業費用	36,497,147	37,304,905	37,207,751	710,604
	医業利益	483,871	143,387	56,236	▲ 427,635
	営業利益	715,836	▲ 1,650,917	▲ 1,386,166	▲ 2,102,002
	経常利益	915,828	▲ 1,441,494	▲ 1,184,611	▲ 2,100,439
(64)	当期純利益	907,072	▲ 1,472,528	▲ 1,199,471	▲ 2,106,543

※ 補助金等収益：収支状況表(11)の補助金等収益に、附属施設の補助金を加えたもの

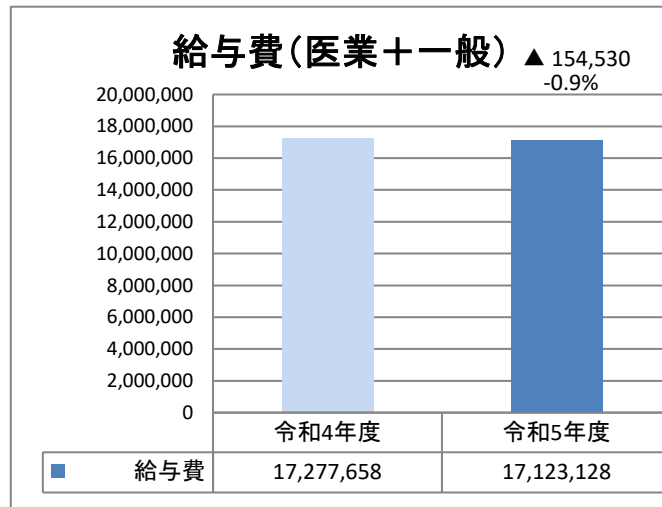
(単位:千円)



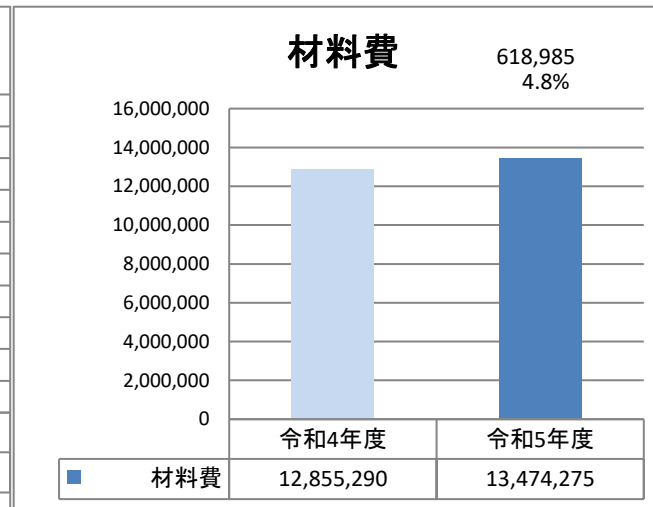
(単位:千円)



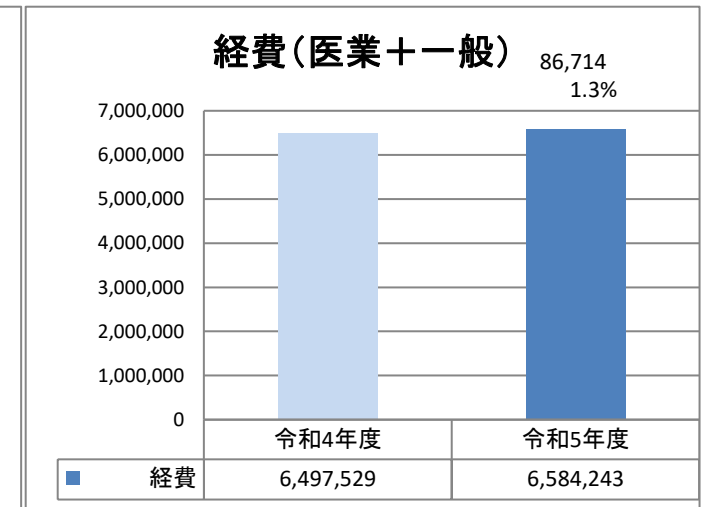
(単位:千円)



(単位:千円)



(単位:千円)



対医業収益比率

46.7%

46.0%

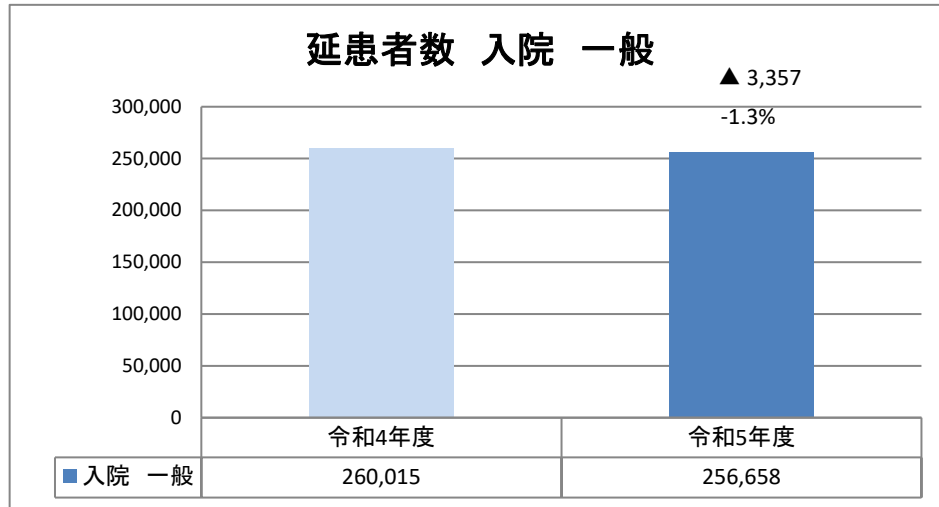
34.8%

36.2%

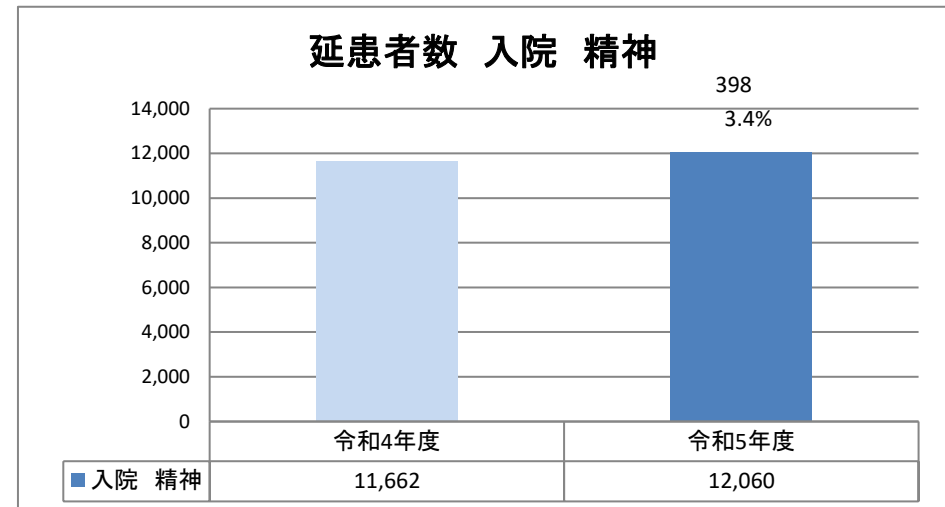
17.6%

17.7%

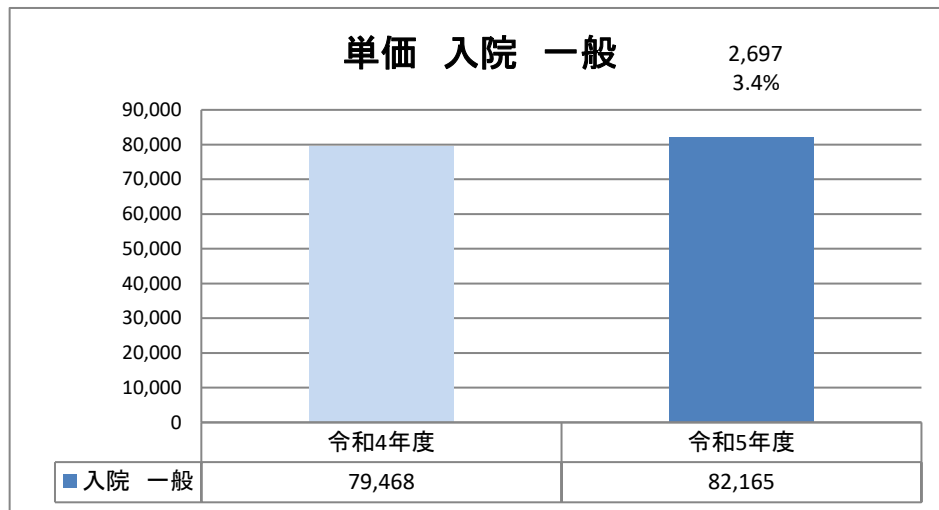
(単位:人)



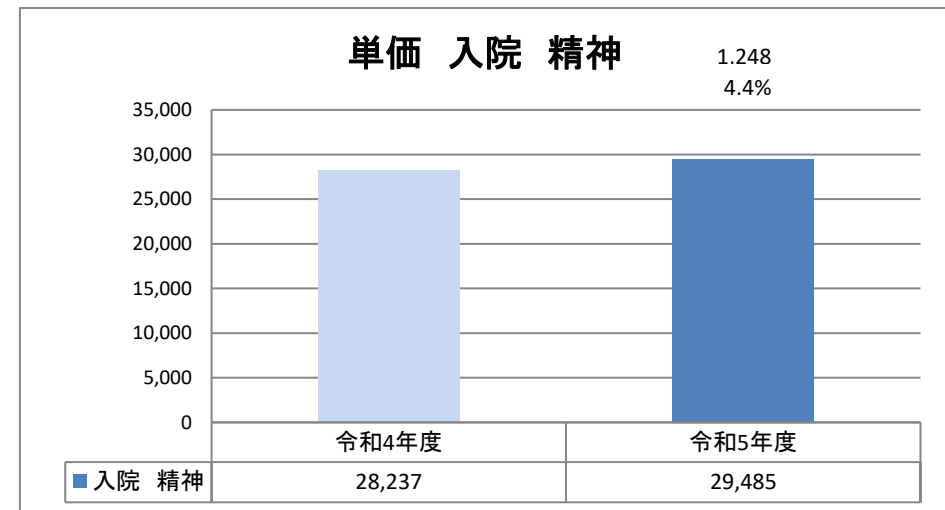
(単位:人)



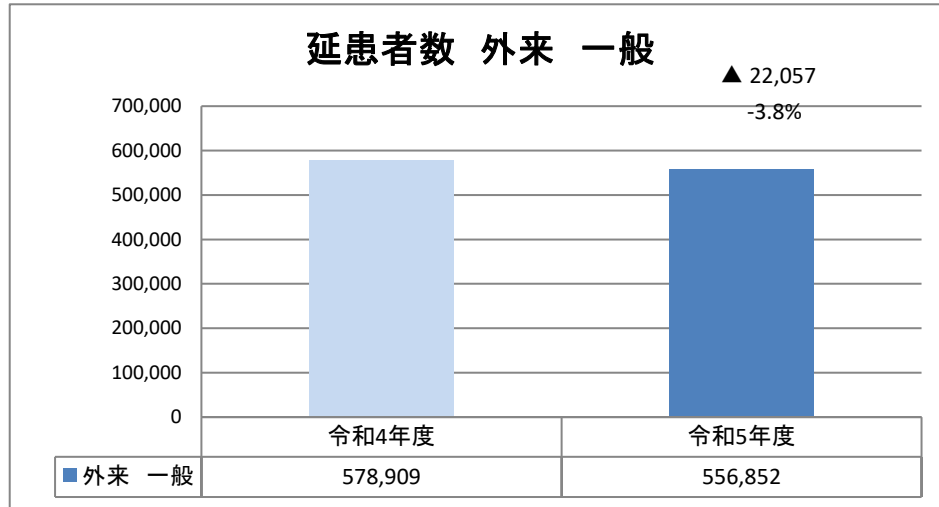
(単位:円)



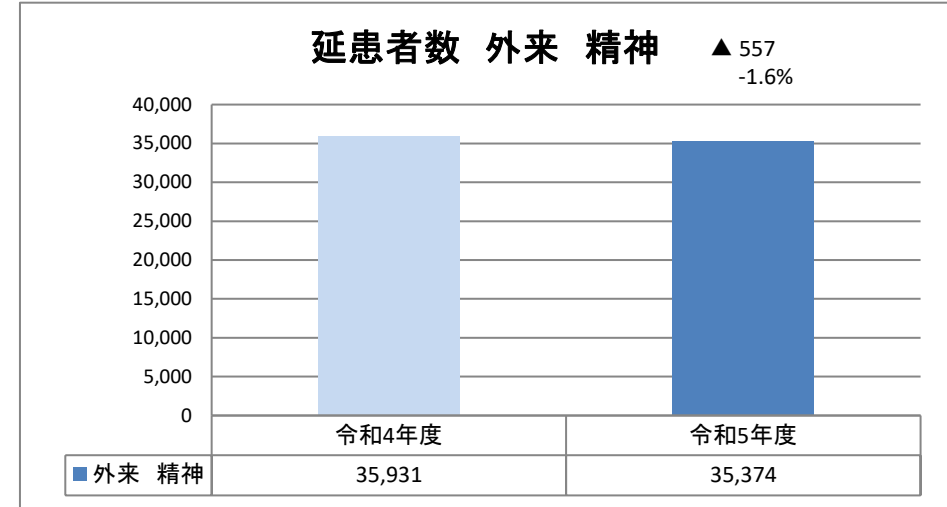
(単位:円)



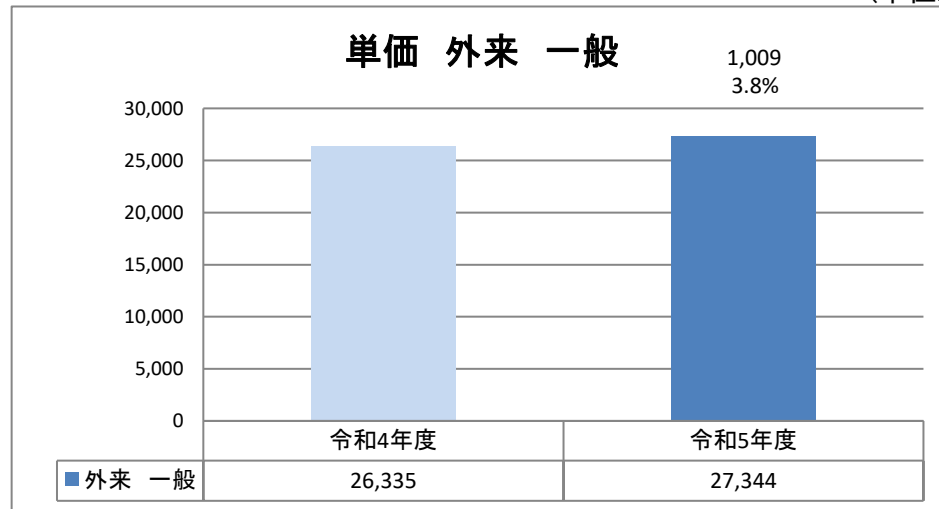
(単位:人)



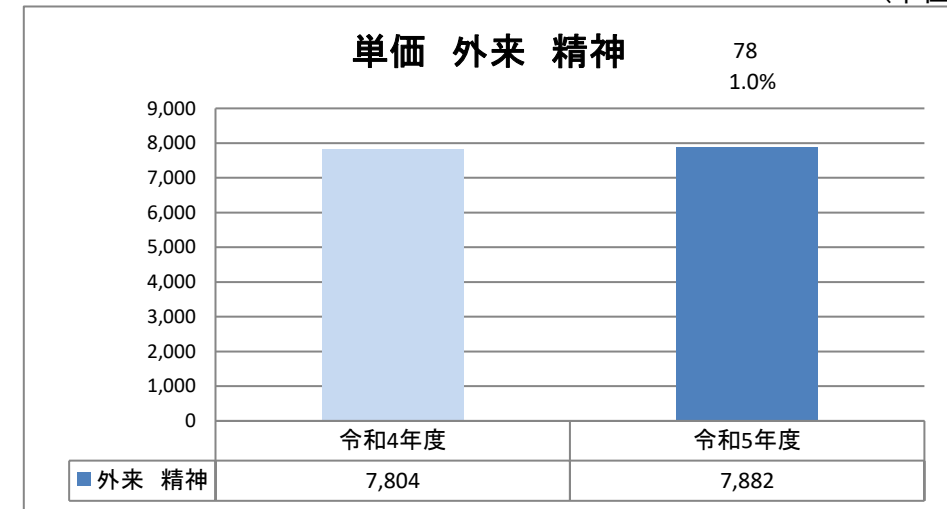
(単位:人)



(単位:円)



(単位:円)



(参考)

財務指標 年度比較表

分析項目		説明	令和４年度	令和５年度	対前年度比
安全性分析	流動比率（％）	1年以内に現金化が可能な資産と支払いを要する負債とを比較し、短期的な支払い能力（資金繰り）を判断する指標。 目安：200％以上。	363.8％	279.1％	-84.7
	当座比率（％）	現金預金、および容易に現金化が可能な未収金などの当座資産と、流動負債を比較し、緊急時の支払能力を判定。 目安：100％以上。	354.2％	269.7％	-84.5
	現金預金比率（％） （現金比率）	流動負債に対する現金預金の比率。短期間に支払う負債に対し、どれだけの現金預金を保有しているかを判断。 目安：20％以上。	222.2％	174.9％	-47.3
	固定比率（％）	自己資本に対する固定資産の比率を表す指標。自己資本の範囲で適切に設備投資が行われているかを判断。 目安：100％以下。	162.8％	174.1％	11.3
	固定長期適合率（％） （固定資産対長期資本比率）	固定資産への投資が固定負債と自己資本の範囲内で行われているかを判断。目安：100％以下。100％超は過大投資といえる。	64.7％	68.8％	4.1
	自己資本比率（％） （自己資本構成比率）	総資本の中に占める自己資本の割合で、この比率が高いほど、経営の安定性が高いことを示している。	35.1％	33.7％	-1.4
収益性分析	総資本経常利益率（％）	法人に投下された総資本からもたらされた経常利益の額を検討する指標。	1.7％	-2.3％	-4.0
	総収支比率（％）	総収益と総費用を対比したもので、収益と費用の総体的な関連を示す指標。	102.2％	97.2％	-5.0
	総収益純利益率（％）	当事業年度における総収益からもたらされた純利益の比率。	2.1％	-2.9％	-5.0
	経常収支比率（％）	経常利益（営業収益+営業外収益）と、経常費用（営業費用+営業外費用）を対比したもので、経常的な収益と費用の関連を示す指標。	102.2％	97.2％	-5.0
	医業収支比率（％）	医業収益と医業費用を対比したもので、医業本体の収益と費用の関連を示す指標。100％未満の場合、医業収支が赤字であることを意味する。	101.3％	100.2％	-1.1
構成比率	固定資産構成比率（％）	総資産に対する固定資産の占める割合を示す指標で、この比率が高いほど、資本が固定化の傾向にあるとされている。	57.1％	58.6％	1.5
	固定負債構成比率（％）	総資本に対する固定負債の占める割合を示す指標で、この比率が低いほど、経営の安定性が高いことを示している。	53.1％	51.5％	-1.6
活動性分析	自己資本回転率（回）	医業収益に対する自己資本の回転率。この数値が高いほど、投下資本による活発な営業活動ができていることを示す。	2.0	2.1	0.1
	固定資産回転率（回）	医業収益と、固定資産に投下された資本との関係を示す。この数値が低いことは、固定資産への投資が過大であることを示している。	1.2	1.2	0.0
	流動資産回転率（回）	現金預金、未収金、貯蔵品等の流動資産全体の回転率。	1.6	1.7	0.1
	未収金回転率（回）	医業収益と医業未収金との関係を表す。この数値が高いほど未収期間が短く、早く回収されていることを示す。	5.4	5.8	0.4

(参考)

財務指標 算式説明

分析項目		算式
安全性分析	流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
	当座比率 (%)	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金} + \text{貸倒引当金}}{\text{流動負債}} \times 100$
	現金預金比率 (%) (現金比率)	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
	固定比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本 (純資産)}} \times 100$
	固定長期適合率 (%) (固定資産対長期資本比率)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本 (純資産)} + \text{固定負債}} \times 100$
	自己資本比率 (%) (自己資本構成比率)	$\frac{\text{自己資本 (純資産)}}{\text{総資本 (負債・純資産)}} \times 100$
収益性分析	総資本経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本 (負債・純資産)}} \times 100$
	総収支比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	総収益純利益率 (%)	$\frac{\text{当期純損益}}{\text{総収益}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
	医業収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
構成比率	固定資産構成比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$
	固定負債構成比率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本 (負債・純資産)}} \times 100$
活動性分析	自己資本回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{自己資本 (純資産)}}$
	固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{固定資産}}$
	流動資産回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{流動資産}}$
	未収金回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(実質) 医業未収金}}$